



未来に希望を
新成人
～愛西市成人式～



愛西市

AISAI CITY
ASSEMBLY

議会だより

No.63
2021.2.1

12
月
定
例
会

| | |
|---|----|
| 特集 市民の暮らしを守る! コロナ対策 | 2 |
| 議論の中から新発見 | 3 |
| 一般質問 ～市政を問う～ | 5 |
| イキイキコーナー 第7回愛西柔道会 | 19 |
| 取材しました! 愛西市の偉人 津田正生 | 20 |

市民の暮らしを守る コロナ対策

11月第3回臨時会

新型コロナウイルス感染症予防対策として国の交付金を基に総額1億5854万円の補正予算を可決しました。

商工業者へ 冬支度応援事業

市内商工業者に対し、冬場の感染症予防対策（換気などの3密対策、衛生設備等）に補助します。

1億40万5千円

小中学校 網戸設置事業

教室及び給食室等の換気時、虫等の侵入による授業の妨げや給食への混入を防ぐため、網戸を設置します。

2165万9千円

設置場所は、 市内の12小学校12 84力所、6中学校68 5力所。授業等で使用す る教室の校舎外側の2カ 所と廊下の窓は間隔を空 けて網戸を設置。

12月定例会

国の交付金を基に総額9億1736万5千円の補正予算を可決しました。

新しい生活様式 対応事業

感染症の影響による市役所業務低下を防ぐため、リモートワークが実施できるよう備品を購入します。

1638万8千円

生活困窮者 自立支援事業

失業などで急遽住居を失った方に一時的に居場所を提供するため、一時生活支援事業として委託します。

9万円

Q 感染症予防対策の物品の確認は、どう行う。

A 事業者への補助金であり、設備等を導入し保健衛生対策や3密対策に効果のあるものが対象だ。申請書兼実績報告書に取組と効果を記載し領収書のコピーの提出が必要だ。



▲網戸設置予定の校舎

Q 会議室などでサテライト的に扱っていくという点だが、自宅ワークはやらないのか。

A 職員の仕事は窓口業務が一番主になる。当然個人情報など、かなり多くある。

最終的に自宅ということも考えなければならぬが、複数で、会議室や公共施設を活用して事務を行っていくサテライトオフィスのことをまず考えたい。

Q 一時的な居場所とはどのような施設か。

A これまでの対応として、無料低額宿泊所や寮つきの仕事などを紹介している。一時生活支援事業を実施するホテルなどの施設と協定を結び、生活困窮者で住居を喪失し、その日に生活の場所がない方に対して、施設で居室及び食事のサービスを提供していく。

議論の中から新発見

国民健康保険税の算定で、資産割を廃止

固定資産を持つ人が、必ずしも税負担する能力があるとはいえないという理由で、見直しがされました。

Q 税総額は上がるのか。

A 資産割廃止による税減少額を所得割に上乘せし、賦課総額は変えない。低所得者に配慮して均等割・平等割は据え置いた。

Q 被保険者への影響は。

A 持家の方の税額は抑えられ、借家の方は相対的に引き上げとなる。負担増の最高額は約13万円。負担減の最高額は約60万円だ。

Q 固定資産のない方は

全て増税になり、過半数以上の方が増税になる。激変

緩和措置は。

A 考えていない。

討論

賛成

制度改正は必要だ

持家などの資産はあっても年金収入だけでは、不安を抱えている方もいる。資産あっても資金なし状態だ。制度改正は必要だ。

反対

コロナ禍の中、値上げすべきではない

市の国保基金は、3億4300万円あり、所得割額を値上げしなくても運営できる。コロナ禍の中、値上げすべきではない。

立田図書館を廃止

立田体育館2階にある立田図書館が利用者減のため廃止されます。

Q 廃止後の配慮は。

A 移動図書館を予定している。

Q 廃止後、中高生の居場所としての利用の考えは。

A 蔵書の整理後、利用については考える。



▲廃止される立田図書館

コミュニティセンター・公民館・スポーツ施設等・総合斎苑の指定管理者決まる

令和3年4月1日から5年間の指定管理者が決まりました。

- 市江地区・永和地区防災コミュニティセンター（各地元コミュニティ推進協議会）
- 永和地区公民館（愛西市シルバー人材センター）



▲親水公園総合体育館および運動場

- 親水公園・立田・佐織体育館、佐屋・親水公園・立田・八開・佐織総合運動場、佐屋スポーツセンター（㈱技研サービス）
- 総合斎苑（あいさい市総合斎苑管理グループ）

Q 親水公園等の指定管理は、共同体で運営されていた。なぜ、今回、単独申請に至ったのか。

A 双方協議し、単独業務でも遂行できる結果となった。

討論（一般会計補正予算）

賛成

新型コロナウイルス対策は充実している

新型コロナウイルス感染症の現状は、いまだ先の見えない状況で、むしろ感染は拡大している。

新型コロナウイルス感染症に対する緊急対策として、修学旅行の中止等に伴う保護者負担を支援する修学旅行企画補償金や、農作業の自動化・感染リスク低減のための事業者継続応援補助金が計上されている。また、障がい者福祉サービスの増額、老人福祉費で配食サービスの増額等、福祉・医療に対する予算も含まれている。

さらに、南河田交差点の改良は市民の安全のために必要だ。よって本議案に賛成する。

反対

南河田交差点改良委託料の説明が不明瞭だ

新型コロナウイルス感染症対応地方創生交付金は8億円に及ぶ。職員のリモート体制や市役所に来る機会を減らす対策の前に、市職員や学校、介護施設、福祉施設の職員に対するPCR検査の社会的検査を行う体制を求める。

また、南河田の企業誘致に関わる交差点改良を行うための委託料では、土地の形や大きさ、家屋などへの影響についての説明が不明瞭だ。市民の税金を必要以上に注ぎ込むことになる疑念がある。

以上のことから、本議案には賛成できない。

◆◆意見書◆◆

今定例会で次の意見書が採択されました。

■国への意見書

▼防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策の継続及び拡充を求める意見書

▼不妊治療への保険適用の拡大を求める意見書

令和2年12月定例会 議案審議の結果と議員の賛否

○：賛成
●：反対

| 会 派 | 新生愛西クラブ | | | | | | | | | 日本共産党 愛西市議団 | | あいさい クラブ | | 公明党 あいさい | | 無会派 | 無会派 | | | |
|-------------------------|---------|------|------|-----|------|------|-----|------|-----|----------------|------|-------------|------|-------------|------|------|------|-------|------|---|
| | 審議結果 | 鬼頭勝治 | 杉村義仁 | 島田浩 | 神田康史 | 鷺野聡明 | 近藤武 | 佐藤信男 | 原裕司 | 石崎誠子 | 河合克平 | 真野和久 | 加藤敏彦 | 山岡幹雄 | 大宮吉満 | 竹村仁司 | 高松幸雄 | 吉川三津子 | 馬淵紀明 | |
| 愛西市国民健康保険税条例の一部改正について | 可 | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ |
| 愛西市永和地区公民館の指定管理者の指定について | 可 | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 愛西市スポーツ施設等の指定管理者の指定について | 可 | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 愛西市総合斎苑の指定管理者の指定について | 可 | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 令和2年度愛西市一般会計補正予算(第8号) | 可 | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ |

※審議結果の「可」は可決です。その他の議案は全員賛成。「議」は議長のため、採決に加わっておりません。
※第3回臨時会は全ての議案について全員賛成しました。

市政を問う

13議員が一般質問

一般質問とは…

議員が市の行財政全般にわたり、方針や執行状況、所信などを質問することをいいます。持ち時間は、議員1人あたり40分です。

●定例会第2日目および第3日目に、13人の議員が一般質問しました。発言順に掲載します。

12月9日

加藤 敏彦 議員 (P6)

- ◆高齢者施設など定期的なPCR検査を
- ◆特定健診無料化の実施を

原 裕司 議員 (P7)

- ◆住宅用火災警報器 周知や設置調査は
- ◆市民がつくる通いの場を

吉川 三津子 議員 (P8)

- ◆移動スーパーの検討は
- ◆新1年生に教員加配を

石崎 誠子 議員 (P9)

- ◆公共施設等個別施設計画の概要は
- ◆他市よりも充実した特色ある事業は

近藤 武 議員 (P10)

- ◆児童発達支援センター 新設への思いは
- ◆防災対応は

竹村 仁司 議員 (P11)

- ◆コロナうつへの対処法は

真野 和久 議員 (P12)

- ◆35人学級を段階的に拡大しては
- ◆立田・八開地区の小規模校の維持を

12月10日

馬淵 紀明 議員 (P13)

- ◆自主財源の減少 市への影響は

佐藤 信男 議員 (P14)

- ◆「湯の花の里」老朽化した内装の修繕は
- ◆要援護者に配慮した応急仮設住宅は

河合 克平 議員 (P15)

- ◆介護保険料の負担軽減は

山岡 幹雄 議員 (P16)

- ◆お悔やみ、書かないコーナーの取組は
- ◆行政と自治会との関係構築を

神田 康史 議員 (P17)

- ◆市長選への出馬意向は

高松 幸雄 議員 (P18)

- ◆地域包括ケアシステムの構築は

高齢者施設など 定期的なPCR検査を

加藤 敏彦議員



疑問があるので実施する考えはない
健康子ども部長

提言

感染拡大の「第3波」到来を直視し、
「検査・保護・追跡」の
抜本的強化を

▲新型コロナ「第3波」到来への提言

問 新型コロナウイルス感染者が急増している事態を受け、日本共産党は政府に緊急な対応を求める提言を発表した。

①「大規模・地域集中的検査」「社会的検査」を、政府の大方針にすえ、推進を

②感染追跡を専門に行うトレーサーを確保し、保健所の体制を抜本的に強化する

③「医療崩壊」を絶対に起こさないために、医療機

関の減収補てん、宿泊療養施設の確保を

「第3波」といわれる新

型コロナ感染について、市としてどう受け止めているか。愛西市の感染状況は。

答 更なる感染予防の徹底に、相当危機感を持って取り組まなければならないと実感している。

12月9日現在の感染状況は69名で、家族間の感染が27名、知人間の感染が10名である。それ以外は単独か市外の感染である。

問 市内の医療機関でも検査ができるようになった。どの医療機関か。

答 検査ができる医療機関は11カ所で、公表されているのは古瀬町の服部内科診療所のみで、八開診療所は要件を満たさない状況で実施できない。

問 新型コロナは4割が無症状感染者といわれる。集団感染の危険性のある特に高齢者施設、児童施設、学校などの定期的、社会的検査を実施すべきだ。

市内の高齢者施設は何か所あるのか。入所者や職員は何人いるのか。

答 PCR検査の実施は、その時点での不安解消には役立つが、実施のタイミングなどの課題を考えると疑問があるので実施する考えはない。

市内には25の高齢者の入所施設があり、924人が入所、職員は670人となっている。

問 特定健診の無料化を実施していないのは海部地区の市では「愛西市」だけである。対象者と無料化の費用はいくらか。市長の決意はどうか。

答 対象者は約2500人、費用は約250万円。近隣市町村や医療機関等の状況を踏まえて検討中だ。

特定健診
無料化の実施を



住宅用火災警報器 周知や設置調査は

原 裕司議員

要領に基づき、各地区で調査を実施
消防長



▲10年たったら交換を!

問 建物火災の逃げ遅れにより、尊い命が失われている。特に高齢者の逃げ遅れが多い。

答 ここ3年間の火災件数と地区別の建物火災状況は。

答 火災件数は、平成29年24件、30年17件、令和元年30件だ。建物火災は、佐屋地区15件、立田地区10件、八開地区2件、佐織地区6件で計33件だ。

問 住宅用火災警報器の設置義務化で建物火災の变化は。

答 全国的に減少傾向だ。

問 出火原因で、一番多いものは。

答 29年は「放火・放火疑い」、30年と元年は「たき火」だ。

問 火災による死者や負傷者の数は。

答 死者は30年2名、負傷者は、3年間で7名だ。

問 火災の死因で、一酸化炭素中毒により、死亡するケースが多い。住宅環境により警報器の音が聞こえない場合がある。住宅用火災警報器の設置基準は。

答 全ての寝室と、二階建て以上で階段に設置が必要だ。

問 住宅用火災警報器の設置から10年以上経過し、交換時期が過ぎている方もいる。設置状況の調査や市民への広報は。

答 毎年、総務省から「住宅用火災警報器の設置状況等調査」がある。要領に基づき、各地区で設置状況の調査をしている。設置啓発広報は、市内イベントや広報誌、消防車両に啓発シートを掲示している。

市民がつくる
通いの場を

問 信頼関係や絆を深めることが、介護予防につながる。介護を必要としないうちに身近に「たまり場」的な居場所、手軽に通える場所の確保が必要だ。活動団体の登録数は。

答 佐屋地区44力所、立田地区7力所、八開地区3力所、佐織地区19力所で、各地区とも増加している。

移動スーパーの検討は

吉川 三津子議員

他の自治体の状況など含め研究していく
保険福祉部長



▲移動スーパーで買い物する高齢者(稲沢市平和町にて)

問 愛西市においては、巡回バスはシルバーカーを乗せてもらえない。社会福祉協議会の買物支援バスは少人数しか利用できない。福祉タクシーは公共施設や病院にしか行けないなど、買い物に不自由だ。

稲沢市では、地元スーパーと個人事業主が連携して移動スーパーが走っている。検討の考えは。

答 利用者の声、利用状況、事業開始に係る他の自治体の支援や補助の状況など、起業される事業主の側のことも含めて研究していく。

問 稲沢市の「おでかけタクシー」は、市内のどこにでも行け、75歳以上の方誰でも使え、料金の半額が補助される。友達と一緒に買い物や図書館に行くなどに使われている。研究の考えは。

答 利用者の状況、経費、今後の見通し等を確認していく。

問 佐屋老人福祉センターは、介護予防の拠点になるべきだが、南館は、暖房もきかない状況だ。整備すべきでは。

答 指定管理者によるアンケートで利用者の意見を聞き、利用方法を考え、その後に改修が必要であれば予算を盛り込んで進めていく。

介護サービスを受けた方は増え、介護を提供したい側の人材不足という非常に厳しい状況で、手探りのところもある。提案に真摯に耳を傾けて進めていく。

新1年生に
教員加配を

問 35人ぎりぎりの1年生クラスが複数できそうだが、国が進める人材バンクで教員希望の大学生を雇用し、加配の考えは。

答 有効な手段であるが、教員の負担等の増につながるおそれがあり、教育現場に適した人材の確保に課題がある。



公共施設等 個別施設計画の概要は

石崎 誠子議員

あくまでも現時点の方向性を決めたもの
総務部長

問 公共施設等個別施設計画の廃止という言葉が独り歩きして、不安に思う市民がいる。どのような意味合いの計画なのか。その概要は。

答 国からの要請を受け、公共建築物の縮減目標を概ね30年間で約30%とし、個別施設ごとに方向性等を定め計画を策定した。あくまでも現時点の方向性を決めたもので、業務内容の変更や施設の利用状況により、計画の見直しを行う。

問 将来的に地元による管理が望ましいと判断し市の施設としては廃止となるコミュニティセンターは、いつ地元移管し、いつ検討を始めるのか。

答 計画上は地元への移管を考え市の施設としては廃止としたが、地元の意向を踏まえて対応する。

問 市内の築40年以上経過した施設数、また小中学校が占める割合は。

答 令和元年度末で築40年以上経過した施設は35施設。うち小中学校が占める割合は、45.7%。

問 学校全体の老朽化がかなり進んでいるが、他の施設よりも早く対策を進める必要性は。

答 施設の状態にもよるが、小中学校の多くが標準耐用年数の60年を早く迎えるため、対策をする時期が早くなることを考えられる。

他市よりも充実した
特色ある事業は

問 他の自治体よりも充実したコロナ対策は。

答 上水道基本料金の免除では、他の自治体が、免除期間を2カ月から4カ月とする中、本市は6カ月間とした。休校再開後の小中学生の給食費無償化では、近隣自治体が2カ月から3カ月の期間とする中、本市は年度末まで対象とした。

問 各施策の周知手段であるLINE等のSNS系媒体が、積極的に活用されていないと思うが、今後の考えは。

答 広報やホームページとは異なる情報発信手段と認識を新たにし、今後はより一層積極的に発信を行っていきたい。



▲市のLINE公式アカウント

児童発達支援センター 新設への思いは

近藤 武議員



支援強化と子育て支援への幅を広げたい
市長



▲児童発達支援センター建設予定地

問 児童発達支援センターの役割と進捗状況は。

答 地域の中核支援拠点として、ライフステージに沿った、本人中心の一貫性のある支援を実施する。

石田町地内の市有地に新築で計画しており、現在、施設の実施設設計を進めている。

問 事業内容は。

答 今までの児童発達支援事業に加え、施設の専門的な機能を活かし、地

域の障がい児の方やその家族への相談、保育園や学校等への援助・助言を合わせて行う。

問 新設することへの思いは。

答 必要とされる方に対して、早期発見・早期療育を重点に置き、本人の成長に寄り添い、自分らしく生きていくための支援を行っていきたい。そして

市全体の子育て支援の幅を広げたい。

防災対応は

問 BCP（業務継続計画）の現状は。また、今後の取り組みは。

答 平成31年2月に策定完了。令和元年度は、被災状況をイメージして、業務内容を検証し、2年度は、ワークシートを用いて、災害対応の準備状況の確認、検証を予定している。



▲BCPを活用した図上訓練



コロナうつ の 対処法は

竹村 仁司議員

身体的、精神的な活動の低下を防ぐ工夫
健康子ども部長



▲メンタルヘルスチェック「心の体温計」

問 コロナうつというこ
とが言われている。どの
ような理解、対処法を取
るのが最善か。

答 感染症を正しく理解
し、ソーシャルディスタ
ンスや3密の回避、マスクの
着用や手指消毒の徹底な
どの感染予防対策を確実
に実施すること、また新
しい生活スタイルにおい
て、身体的、精神的な活動
の低下を防ぐ工夫などが
大切だ。

問 心の病に関しては、
早期発見、早期治療につ
なげる相談窓口が大切だ。
市内の相談窓口はどこか。

答 また、年間の相談件数は、
窓口は健康推進課で、
面接相談30件、訪問相談
10件、電話相談307件
の対応をしている。

問 相談内容として、新
型コロナウイルス感染症
に関するものは。

答 コロナ関係の相談と
しては、発熱等、自らや家
族の体調変化による不安、
外出に対する不安、また
人との接触はどの程度大
丈夫なのかなどが多い。

問 うつ病と自殺は関連
があるので、ゲートキー
パーの存在は大切だ。何
名が研修を受け、その研
修を受けた前と後では、
どのように意識が変わっ
たのか。

答 研修は、平成25年度、
26年度に30名ずつが受講
した。窓口業務において、
その人の言動から変化に
気づき、どのように声を
かけ、話を聞くことよいか
など、必要時に相談と支援
先の橋渡しを行うための
知識や方法を身につける
ことができた。

35人学級を 段階的に拡大しては

真野 和久議員



市単独で取り組む予定はない
学校教育課長



▲立田・八開地区の学校統合が含まれた提案

問 9月議会の一般質問

では、教員の確保が困難という答弁だったが、犬山市では、全国的に常勤の先生を公募している。また、県雇用と市雇用の非常勤講師では賃金が大きく違っている。賃金引き上げを含め、広く募集することはできないか。

答 教員の人材確保が困難な状況の中、採用の手段として検討材料としては有効かとは考えるが、現時点では考えていない。

問 小学校は3年生から、

中学校は2年生から35人学級が40人学級になる。小学3年生、中学2年生から段階的に実施する考えはないか。

答 海部地区で、学校運営に関する調整を行うことで様々な課題に取り組んでいることから、単独で取り組む予定はない。

立田・八開地区の 小規模校の維持を

問 3月議会の質問で、

今年度は説明会は行わず、地域のグループとの懇談を行う旨の答弁があったが、現在の状況は、

答 グループや住民からの要望に個別に対応し、地域住民との対話を続けていきたい考えは変わっていない。しかし、新型コロナウイルス感染症対策などから、そのような場を設けることができない状況だ。

問 説明会でも学校規模の適正化計画は(案)となっているが、本計画になるのはどの段階か。

答 市民の理解が不可欠なので、地域の合意形成が確認された後、実現できるものと考えている。

問 立田・八開地区の統

合に関しても、地域の合意形成ができなければ正式な基本計画にはならないということではないか。

答 地域における合意形成が必要と考えている。

問 地域の合意形成ができない状況にある中で、このままでするとやるよりは、計画案の凍結、再協議の方向へ向かったほうがいいのではないか。

答 現時点で方針を大きく転換する考えはない。ただ、学校に求められる環境など変化する状況、動向等については引き続き把握に努めていきたい。



自主財源の減少 市への影響は

馬淵 紀明議員

市全体の事業見直しも必要になる
総務部長

| 年度 | 市へ寄附された金額 | 市民が他市町村へ寄付した市民税控除額 | 差額 |
|--------|-------------------|--------------------|-------------------|
| 平成28年度 | 632万円 | 2,002万円 | 1,370万円 |
| 平成29年度 | 392万円 | 3,481万円 | 3,089万円 |
| 平成30年度 | 442万円 | 4,845万円 | 4,403万円 |
| 令和元年度 | 999万円 | 6,163万円 | 5,164万円 |
| 令和2年度 | 1,652万円 (11月末) | 6,759万円 | 5,107万円 (11月末) |

▲本市のふるさと応援寄附金の状況

問 自主財源確保に取り組んでいることは何か。

答 企業誘致による税収増のほか、公有財産の貸付け・売却、ふるさと応援寄附金、広告事業収入等がある。

問 ふるさと応援寄附金の状況を聞く。本市へのふるさと納税寄附額と、市民が他の自治体に寄附を行った、市民税控除額との差額はいくらか。

答 平成28年度1370万円、29年度3089万円、30年度4403万円、令和元年度5164万円、今年度は11月末で5107万円。

問 75%補填されても、本市は赤字になっている。今後も減収額が拡大していくと、市へはどのような影響が出てくるのか。

答 自主財源の減少により、市全体の事業見直しも必要になると考えている。

問 自主財源確保について、副市長の考えは。

答 自主財源については、単にお金の問題だけではなく、本市の魅力の発信や、効果的なPRになる形での返礼品等の事業の仕上げをしたり、職員の意識改革にもつなげたりと考えている。まずは職員提案等を活用して、職員の考える力、あるいは柔軟な発想を引き出したと考えている。

問 自主財源の減少は、市民サービスへの影響が心配される。減収額が増えている要因等の検証は行っているのか。

答 例年の実績と他の自治体の動向を踏まえ、今年度は納税サイトを増やし、引き続き返礼品の拡充を進めている。また、減収額が拡大しないようにも努めていく。

その他の質問

- 来年度以降の巡回バスの考え方は
- スポーツ施設利用団体から要望等はあるのか

「湯の花の里」 老朽化した内装の修繕は

佐藤 信男議員



小規模な修繕は、その都度進める
保険福祉部長



▲工事が進む天然温泉の「湯の花の里」

問 佐屋老人福祉センター「湯の花の里」の工事内容は。

答 外壁修繕工事と屋上防水工事だ。

問 「湯の花の里」の老朽化した内装の今後の修繕は。

答 小規模な修繕は、その都度指定管理者が進める。大規模な修繕は、計画的に市で進める。

問 新型コロナウイルス感染症の対応で、お風呂の人数制限をどのように変更したのか。

答 予約制で運営し、より多くの方が利用できるよう140人から、280人にした。

問 高齢者福祉への今後の考えは。

答 住み慣れた地域でいつまでも暮らし、健康寿命を延ばし、親しみやすく通いやすい憩いの場を考えたいかなければならない。

要援護者に配慮した
応急仮設住宅は

問 佐屋プール跡地の応急仮設住宅用地は、浸水は大丈夫か。海拔はどれくらいか。

答 プール跡地で海拔1・6m、グラウンドで0・6mだ。概ね問題ない高さだ。

問 災害時に応急仮設住宅を建設できる場所は、他にあるのか。

答 市役所西側の佐屋スポーツセンターだ。

問 大地震が発生したら、市内に応急仮設住宅は、何戸必要と見込んでいるのか。

答 東海・東南海・南海地震等被害予測から、家屋被害予測数1100戸の20%で約220戸の確保だ。

問 高齢者や障がい者などの要援護者に配慮した応急仮設住宅の建設はできるか。

答 スロープや生活援助員室を設置するなど高齢者等が居住しやすい構造や設備を有する福祉仮設住宅はできる。

問 大災害における高齢者の応急仮設住宅の支援体制は。

答 特に自治会・民生委員・ボランティアの連携体制による支援活動が必要である。



介護保険料の負担軽減は

河合 克平議員

第8期は9期も見据え負担軽減を考える
保険福祉部長

| | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年予定 |
|----------|-------------|-------------|-------------|
| 基金残高(円) | 592,233,690 | 469,998,690 | 472,378,690 |
| 被保険者当の基金 | 30,528円 | 24,227円 | 24,349円 |

▲介護保険準備金一人当たりの残高

問 第8期介護保険事業計画・高齢者福祉計画の考え方は。

答 愛西市の高齢化率は高いが、要介護認定率は低い。要介護認定を受けなくても済むように、また、認定を受ける時期を遅らせるため、介護予防に力を入れていきたい。

問 第7期の進捗の状況と、準備金は。

答 保険料の総額と給付費の総額は、ともに当初

の見込みより少ない。基金の積立てをほぼ取り崩すことなく介護保険特別会計の運営ができています。

令和元年度決算の基金残高は、4億6998万6千円で、一人当たりは約2万4200円である。

問 準備金を活用して負担の軽減を図る考えは。

答 第8期介護保険料を見込むに当たり、9期も見据えた上で負担の軽減を考えたい。

問 多段階を設定して応能負担を強める考えは。

答 保険料の段階は、11段階で設定をしている。国基準より、2段階多くし、高所得者に高い率での保険料を負担してもらっている。第8期保険料では、この段階を増やしていくかも含めて試算、検討をしている。

| | 介護認定率 | 段階 | 最高倍率 | 標準月額 |
|-----|-------|------|------|--------|
| 愛西市 | 15.4% | 11段階 | 1.85 | 5,100円 |
| あま市 | 17.0% | 12段階 | 2.00 | 5,200円 |
| 大治町 | 16.1% | 12段階 | 1.95 | 5,200円 |
| 蟹江町 | 15.9% | 11段階 | 1.90 | 5,500円 |
| 弥富市 | 16.1% | 12段階 | 2.10 | 5,540円 |
| 津島市 | 16.2% | 17段階 | 2.30 | 5,600円 |
| 飛島村 | 14.2% | 12段階 | 2.30 | 6,350円 |

▲介護保険認定率と標準月額保険料

お悔やみ、書かない コーナーの取組は

山岡 幹雄議員

現時点ではコーナー設置の考えはない
市民協働部長



▲大分県別府市おくやみコーナー

問 親族が亡くなった場合、遺族は悲しみの中、各種手続を進めなければならない、その手続の種類は。

答 手続の種類は21種類。

問 死亡に伴う手続について、大分県別府市では、職員の提案により、お悔やみコーナーを設置し、手続の一括化サービスを実施。千葉県船橋市では、書かないコーナーを高齢者や字を書くことが困難

な方にモニター画面において確認しながら端末と一緒に入力し、手続の漏れを防ぐ、住民サービス向上と窓口での対応時間の短縮になる。愛西市も、この取組を実施すべきではないか。

答 現時点で、お悔やみコーナー、書かないコーナーの設置は考えてない。

行政と自治会との関係構築を

問 自治会への加入率と未加入世帯の数、総代の最高年齢と平均年齢、定年制の計画があるか。

答 自治会の加入率は約97%、未加入世帯は約480世帯、令和2年度の最高年齢は82歳、平均年齢は66.9歳。総代の定年制の計画はない。

問 行政と自治会との関係構築をどのように進めるか、自治会未加入者に対する対応についての考えは。

答 少子高齢化や人口減少、つながりの希薄化、役員の担い手不足等、地域課題が多様化・深刻化している状況の中で、地域を見直し、魅力あるまちづくりを進めるために、市内でモデル地区を決め、市民主体で一人ひとりが主役となり、ワークショップ

プ、まち歩き、様々な世代での話し合い、アンケートの実施等を行い、その中で、地域の強みや課題を発掘し、地域が目指す方向性、ビジョンを描き、事業展開の再考や担い手等の人材育成をすることで、持続可能な地域運営を目指していく。
自治会未加入者については、加入を促す働きかけをしていく。



市長選への 出馬意向は

神田 康史議員

次期市長として全力で当たりたい
市長



▲愛西市役所本庁

問 市長任期2期目も残すところあと数カ月となった。自身が掲げた公約も踏まえ、現在までの市政運営のかじ取りを行ってきたことを、これまでの実績と積み残しの課題にも触れたうえで在任中(1期・2期計8年間)の総括は。

答 責任世代として、また行政に携わる者として「しっかりとした施策立案」の信念の下、市政運営に努めている。

1期目は、事務事業の検証を丁寧に行った。2期目は、「進めるべきは進め、とどまるべきはとどまる。」との考えの下、市政運営に努めている。少子高齢化の急速な進行の中で、市が持続可能な自治体として存続するためには市民の皆様を含めたオール愛西で市を支える必要があると考え、その取り組みを次世代に先送りせず実施してきた。

問 市が持続可能な自治体として今後も成長し続けていくためには、想定外のことに迅速・適切に対応しながら「攻めの施策」も展開していかなければならぬ。そこで、次期市長選への出馬意向は。

答 第2次愛西市総合計画において「人・自然 愛があふれるまち」を将来像とし、協働によるまちづくり、持続可能なまちづくり、絆を大切にすることを「まちづくりの理念」に沿って事業を進めている。この動きを更に前進させることが自身に課せられた使命であると考える。次期市長として強い覚悟を持って、市の運営に全力で当たりたいという決意である。

問 先の読めない市政運営(コロナ禍の下)に市長はどのように対処するか。

答 市民自ら地域を元気にする取り組みが持続可能ながわが市には必要であると考えており、市民を主役にしたまちづくりを市政運営の根底に据え、共に考え・働き、住んでよかったと実感できるまちづくりを継続し、更に次世代にバトンタッチしていけるよう全力を尽くしたい。

地域包括ケアシステムの構築は

高松 幸雄議員



包括的に協力体制が必要と考える
市長



▲川崎市地域包括ケアシステムポータルサイトより
自助・互助・共助・公助について

問 地域包括ケアシステムとは、高齢者が住み慣れた地域、家で最期まで自分らしい暮らしを続けるための制度で、住まいを中心として医療、介護、生活支援、介護予防が連携していくことである。

また、地域包括ケアシステムがうまく機能するためには、自助・互助・共助・公助の「4つの助」の連携が不可欠になる。

地域包括システムの構築の要は、地域包括支援センターが着実に医療と介護の連携や切れ目のないサービスを構築しているかどうかを鍵とする。

答 地域住民の心身の健康の維持、生活安定のために必要な援助を行うことにより、地域住民の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援するため、相談を受け付け、支援を行い、必要なサービスにつなぐことや、高齢者の虐待防止などの権利擁護業務等を行い、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるように支援を行うことだ。

問 地域ケア会議は、役所の職員はじめ、ケアマネジャー、介護サービス提供事業者、医療機関や社会福祉協議会の関係者、町内会やボランティア団体の代表ほか民生委員などが参加し、意見を述べることで地域に住む高齢者が直面している課題が明確にされている。

問 地域ケア会議は、役所の職員はじめ、ケアマネジャー、介護サービス提供事業者、医療機関や社会福祉協議会の関係者、町内会やボランティア団体の代表ほか民生委員などが参加し、意見を述べることで地域に住む高齢者が直面している課題が明確にされている。

答 民生委員には地域の住民に、支援が必要な場合や生活に不安があるような高齢者がいた場合、高齢福祉課または担当地区の地域包括支援センターへ相談、連絡をしてもらっている。それぞれ連携をし、支援が必要な高齢者へ対応をしている。

問 地域包括ケアシステム構築について、市長の考えは。

答 地域包括事業については、自ら暮らし地域で自らの最期まで暮らし続けるために必要なシステムを構築していくことで、医療、介護、予防、住まい、生活支援が包括的に協力体制を取っていかなければならないと考え

答 民生委員には地域の住民に、支援が必要な場合や生活に不安があるような高齢者がいた場合、高齢福祉課または担当地区の地域包括支援センターへ相談、連絡をしてもらっている。それぞれ連携をし、支援が必要な高齢者へ対応をしている。

イキイキコーナー

第7回 愛西柔道会

練習日は
部員数は

毎週 月・水・土曜日
幼児～小学生 15名
中学生 8名
高校生 7名
合計 30名

指導者数は 8名

指導者のコメント

大人になっても楽しい柔道が続けてくれるようになっていただきたい。柔道を通じて礼儀や挨拶がしっかりでき、健康な体作りを目指してほしい。

練習時間は

月曜日 佐屋中学校武道場
19時～21時
水曜日 立田体育館武道場
19時～21時30分
土曜日 佐屋中学校武道場
19時～21時

柔道で
学んだことは

礼儀の大切さ
努力の大切さ

将来の夢は

小学校の先生
仮面ライダー
(正義のヒーロー)
柔道での世界
チャンピオン

楽しいことは

友達と話せること

入部の動機は

お兄ちゃんをみて
楽しいと思った

開かれた議会を目指し、より市民に親しまれる「愛西市議会だより」にするため、写真掲載とコメントを募集します。

小中高生などを対象としたサークル活動・スポーツ団体などで、活動内容を撮影した写真と活動内容に対するコメント。

お問い合わせ・
送付先

愛西市議会広報特別委員会(市議会事務局)

〈住所〉〒496-8555 愛西市稲葉町米野308番地 〈電話〉0567-55-7141
〈ファックス〉0567-26-7141 〈メール〉gikai@city.aisai.lg.jp

第20回取材しました!
愛西市の偉人②

「尾張地名考」を著作 津田正生つだ まさ なり (根高町)

Q いつ頃の人?

A 江戸時代(1776~1852)に活躍した文化人・地理学者です。

Q どんな人?

A 家業の農業・酒造業を営み、余暇を利用して学問に精励した。1800年に処女作「二世契約にせのけいやく 啞鉄砲うそのてっぽう」を発表。代表的な著作として、「尾張地名考」があります。

Q 代表作「尾張地名考」の概要は?

A 江戸時代には、村名を付けることになりました。名称の由来を可能な限り現地調査し、作品を完成するまでには長い年月をかけた著作です。

Q 佐織公民館がある諏訪(村)町の由来は?

A 諏訪という地名は神様(諏訪大社)か、かつてあった大池を「須和」と呼んだことに由来するかは定かではないが、昔、佐織庁舎あたりに池があり、地名が「池埋」となっています。

Q その他の活躍・功績は?

A 58歳にして、3日間で根高村から妻籠宿まで100キロの道のりを歩き鎗ヶ岳やりがたけを登頂しました。その記録を「天保鎗ヶ嶽日記てんぼうやりがたけ」として出版しました。この時代、登山は宗教活動によるものでしたが、今日でいうスポーツ登山の魁ともいわれています。

○晩年は、津島街道ろぼう りくごうあんの路傍に茶席六合庵ちあし ろくごうあんを設けて、往来する人々に湯茶を提供していました。現在、街道沿いに彼の宅址たくしの碑や釜地藏寺(根高町古堤己新田)には墓碑が残っています。



▲根高町にある彼の宅址の碑

令和3年3月定例会の開催予定

| | |
|----------|---------------|
| 3月 4日(木) | 本会議(招集日)議案上程 |
| 3月 9日(火) | 本会議(第2日)一般質問 |
| 3月10日(水) | 本会議(第3日)一般質問 |
| 3月15日(月) | 本会議(第4日)議案質疑 |
| 3月17日(水) | 総務文教委員会 |
| 3月18日(木) | 建設福祉委員会 |
| 3月24日(水) | 本会議(最終日)討論・表決 |

クローバーTV放映日時(チャンネル121)

→ 3月16日(火)午前10時~午後7時~
→ 3月17日(水)午前10時~午後7時~

- 本会議は午前9時30分から開催します。
- 常任委員会は午前9時から開催します。
- 日程は変更になる場合もありますのでご了承ください。
- 詳しくは議会事務局へお問い合わせください。

編集後記

新しい年を迎え、新鮮な気持ちで編集作業に取り組みました。

新しい生活様式の確立が求められる本年、市もさらに独自の新型コロナウイルス感染症対策を打ち出していくことと思います。そして市民の皆様との協働で、少しでも多くの方の不安が取り除かれる事を願います。

議会だよりという誌面を通して、市の政策や事業、議会の対応などを解りやすく伝えてまいります。今後、誌面を通して皆様の顔が見えるように頑張ります。

本年もよろしくお願
い致します。

(竹村 仁司 記)

委員長 山岡 幹雄
副委員長 原 裕司
真野 和久
吉川 三津子
竹村 仁司
佐藤 信男